

留学を成功させる 5つの価値

株式会社アクシアム 代表取締役 渡邊 光章さん

単に「外国に留学した」では通用しない時代になる
留学をして何を身につけるべきか
意識するのとは異なるのでは帰国後に大きな差がつく



2010年にどんな自分になるか

2005年に海外に出て留学をする人が卒業して、就職をするのは2010年。そのころどういふ人が望まれているでしょうか。
2010年は今以上にグローバル化の会社が外資になる、外資が日本の会社になる、といったようなことが今以上に起きてきます。また、海外に出る人がどんどん増えて、言語ができる、外国経験があるというのは、今よりも

ふつうの経験になってきます。
そこで、必要になってくるのは、しっかりした自分の価値観、ビジョンだと思います。単に「外国に留学した」「○○という学位を取った」というだけでは、通用しなくなってきます。「社会人としてどういふ人生設計をするか」というテーマが問われるのです。
では、どうすれば、価値観やビジョンを高めていけるのか。私は、これから挙げる「5つの価値」を留学前、留学中、そして帰国後に意識することによって実現できると考えています。
「5つの価値」の第一は、知識やスキ

ルです。つまり、専攻や学位ですね。留学を計画する方も帰国した方の多くもここに注目します。今までは確かに「○○という学位を取った」ということが重要視されてきました。現状でも、25歳以下の留学経験者は、海外で学位を取ってきたというだけで、ほとんどの人がベンチャー、大企業に就職できています。外資系は新卒採用があまりないのですが、ベンチャー、大企業には入れます。
ただ、これからの時代は留学しただけではなかなか就職しにくくなっていくと思います。日本もグローバル化して、外国育ちの人や外国人も大勢働く時代です。留学経験だけでは勝負できなくなることを意識してください。
留学して得る あなたの価値とは
それでは、留学して何を得てくればいいのかでしょうか。それがこれから述べる四つの価値です。
第二の価値は、留学しないと得られない経験則を意欲して自分のものにしていくこと。スキルや学位だけでなく、自分だけの独自の経験を意識的に



つづいていく作業です。
つまり、留学をする人はみな、留学先の地域、時代、名門校かどうかなどによって、多様で異なる価値観を身につけていきます。911事件以前のアメリカと911以後ではかなり違う体験をするでしょう。中国に留学しても上海と北京では地元の人々の気質や文化がだいぶ異なります。そういうユニークな体験は、その人固有の価値観を形成していきます。これは、生涯ずっと色濃く残るものです。
だから、自分はどういう影響を受けたいのか、ということを意識して、留学先を決め、留学中に探し求めることをするべきです。
第三の価値は、ネットワークです。
例えば、UCLAの映画科に行って映画監督を目指す学生は数多くいます。でも、UCLA映画科に入れば映画監督になれることが保証されたわけではなくありません。毎週、映画関係者が集まるパーティーに出る。そこで出会った人に映画スタジオでインターンシップをしたいと申し出る。そうやって、いろいろアプローチして、なんとかネットワークをつづけて、映画界に入っていく人にチャンスはめぐってきます。

留学経験だけでなく 職歴を武器に

例えは、日本に帰国したときに26歳以上になっていて、職歴がない人。そういう人は、大企業のみならずベンチャー企業などを狙うという視野も必要になってくるということになります。
そこで、ベンチャー企業に入って、社会人としてのスキルをまず学び、職歴をつくること。その後、30代になってから、留学したときの海外経験とベンチャー企業でのスキルを武器にして、次に外資に転職すればいいのです。
英語だけを武器にしよとするのではなくて、年齢的に不利であるという現実を直視しつつ、ちゃんと前向きにキャリアをつくっていく。こういう姿

勢で臨んで欲しいと思います。
最後に、**第五の価値として、opportunity(機会)を意識すること。**留学する人はみな自分の夢を持っているのかと思います。あなたの夢を実現するopportunityはどこにあるのか、これをじっくり考えて、実行してください、というつもりです。
つまり、あなたの夢を実現するopportunityはどこにもあるわけではありせん。世界銀行といった国際機関に勤めるのが夢であれば、専攻や大学もある程度限定されてきます。夢を本当に実現できるopportunityがあるところにいってほしいです。
ここで誤解してほしくないのですが、なにがなんでも一流校に行け、というのではありません。映画監督を目指すのにUCLAの映画科に行くのは王道

かもしれません。ただ、UCLAはあまりに競争が激しい。日本人も大勢行っていますが、ハリウッドで監督になった人はほとんどいません。だったら、オーストラリアに行けば、日本で映画に関わったという自分の経験を希少価値にして入り込めるのでは、と考える。こういうのもopportunityを広げていく発想です。
アメリカの大学のホームページをご覧になると、卒業生がどういふキャリアを歩むのかが詳しく書いてあります。これを見て、自分に必要なopportunityがその大学に本当にあるのかどうか判断すべきです。あるいは、行きたい大学の卒業生と直接話したり、メールをしてみる。自分のopportunityを広げていくことを意識的にやってください。

- 留学で得られる 5つの価値
1. 専門知識やスキル、学位
 2. 留学の経験から培う価値観
 3. ネットワーク
 4. キャリアに対する考え方
 5. 機会を広げていく発想

生涯にわたる職業経歴を考えると、これが留学生にとって、一番のアドバンテージ

【株式会社アクシアムご紹介】
事業内容: エグゼクティブ・サーチ、経営コンサルティング、インターネット・キャリア・デベロプメント、キャリア・コンサルティング。1993年の創立以来、3500人以上のMBA保持者のキャリアカウンセリング実績を持ち、相談者の半数が留学経験者。約600社の顧客は外資系企業60%、日系ベンチャー35%、日系大手企業5%。産業分野はキャリア相談者に対し選択肢が広がるよう、製造業、サービス業、金融業、コンサルティング業など多岐にわたる。仕事を転々と変える「転職」ではなく、展望を持ったキャリア形成＝「履職」を提案している。
アクシアムホームページ: <http://www.axiom.co.jp/>
キャリア・マネジメント・サイト「新履職」: <http://www.shintenchu.com/>

